

# 下水汚泥焼却灰の放射性物質の測定結果

名古屋市上下水道局

単位：ベクレル/kg

汚泥処理場名（所在地）	採取年月日	I-131	Cs-134	Cs-137
山崎汚泥処理場 （南区）	平成 23 年 6 月 24 日	不検出	10.4	15.4
			セシウム合計 25.8	
柴田汚泥処理場 （南区）	平成 23 年 6 月 24 日	不検出	19.8	18.8
			セシウム合計 38.6	
宝神汚泥処理場 （港区）	平成 23 年 6 月 24 日	不検出	10.3	11.7
			セシウム合計 22.0	

※基準を大きく下回っており、問題ありません。

## <参考>

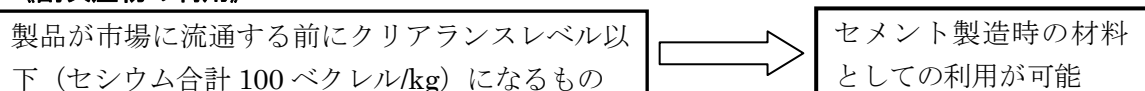
○ 国土交通省通知による埋立および副次産物の考え方：下水道部作成資料より

### 《埋立》

単位：ベクレル/kg

セシウム合計 跡地利用	8,000 以下	8,000 超～ 100,000 以下
居住等の用途以外	埋立処分可能（防水対策等の適切な対策が必要）	
居住等の用途	個別の安全性評価及び長期的な管理の方法の検討の後、埋立処分が可能	

### 《副次産物の利用》



関連情報はこちらから

<国土交通省のHP>

放射性物質が検出された上下水処理等副次産物の当面の取扱いに関する考え方について

[http://www.mlit.go.jp/report/press/city13\\_hh\\_000131.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/city13_hh_000131.html)

（上記の通知文）

<http://www.mlit.go.jp/common/000147621.pdf>

<日本下水道協会のHP>

「考え方」の解説

<http://www.jswa.jp/recycle/news/news04.html>

上記の「考え方」の説明図（国土交通省下水道部作成）

<http://www.jswa.jp/recycle/news/pdf/diagram.pdf>